

Attracting Tomorrow



第126回

定時株主総会

2021年4月1日～2022年3月31日

TDK株式会社

2022年6月24日

目的事項

報告事項

- 事業報告
- 連結計算書類
- 計算書類
- 監査報告

決議事項

- 議案
(第1号議案～第3号議案)



》》 本総会の進行

- 1 監査報告
- 2 報告事項
- 3 当社グループの対処すべき課題
- 4 議案の説明
- 5 質疑応答
- 6 議案の採決

ご質問等は「4.議案の説明」が終わった後に、一括してお受けいたします。

》》 監査報告

■ 会計監査人の監査報告

- ・ 連結計算書類 (P65～P66)
- ・ 計算書類 (P67～P68)

■ 監査役会の監査報告 (P69)

- ・ 事業報告
- ・ 計算書類
- ・ 連結計算書類

》》 報告事項

第126期 2021年4月1日～2022年3月31日

- 事業報告の内容
- 連結計算書類の内容
- 計算書類の内容

招集ご通知 P25～P64
当社ウェブサイト

当社グループの対処すべき課題

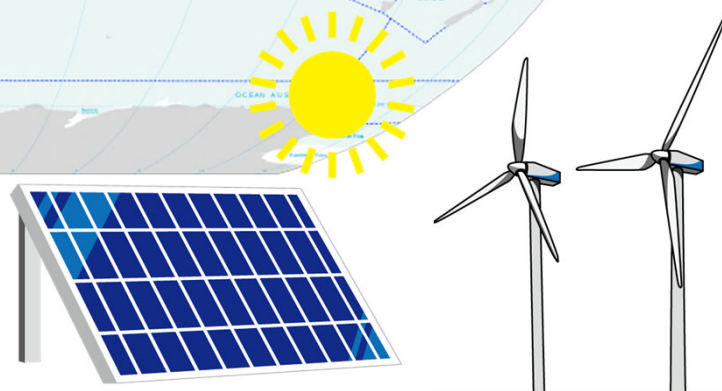
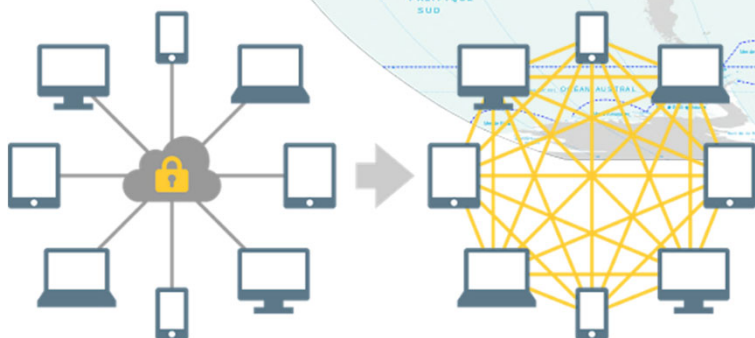
DX EX

Digital Transformation

IoTやAIの浸透による変革

Energy Transformation

化石燃料から、再生可能エネルギーへの転換



中長期計画 “Value Creation 2023”

2CX*実現に向けてDXとEXを加速させ、持続可能な社会のための価値を創造する

◆ 社会的価値

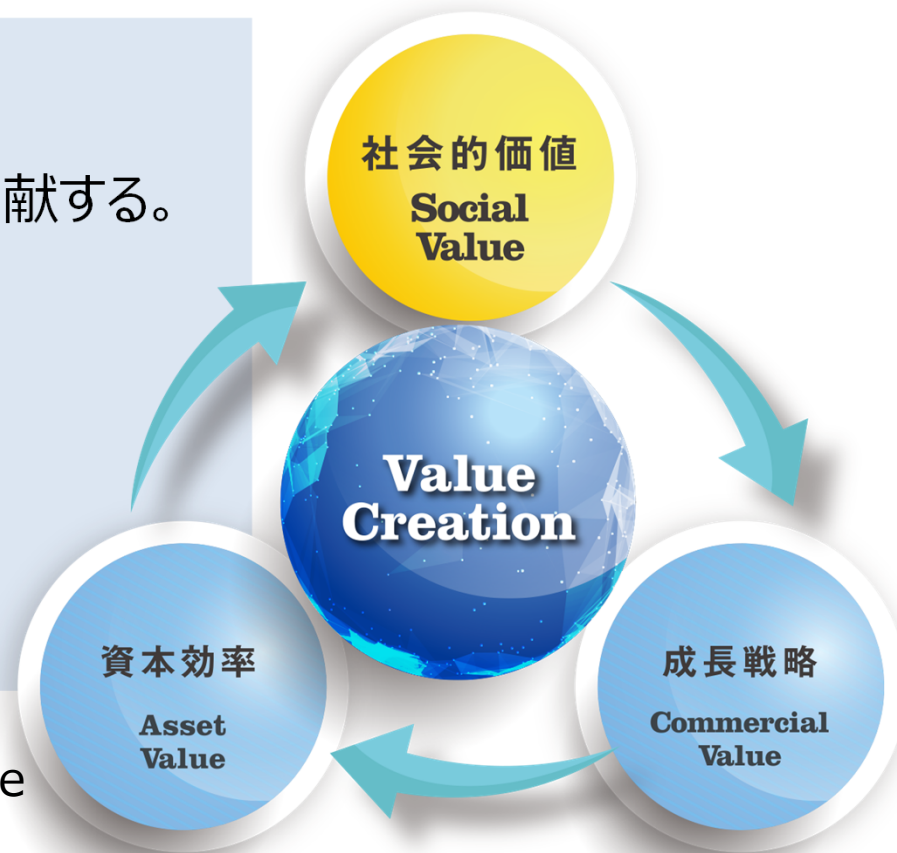
社会課題を解決し持続可能な社会の実現に貢献する。

◆ 成長戦略

社会に対して価値ある製品を提供し続ける。

◆ 資本効率

効率的な経営を追求する。



*2CX: Customer Experience and Consumer Experience
(顧客体験) (消費者体験)

TDKグループのマテリアリティ(重要課題)

Attracting Tomorrow



DX

マテリアルサイエンスと
プロセス技術に
ソフトウェア技術を加え、
社会のデジタル化を促進

EX

電子デバイスでムダ熱と
ノイズを最小化し、
エネルギー・環境問題に貢献

品質管理

人材マネジメント

サプライチェーンマネジメント

オポチュニティ & リスクマネジメント

権限委譲と内部統制の追求

資産効率の向上

TDKグループのマテリアリティ(重要課題)

人材マネジメント

- ◆ TDKをリードする人材の育成
- ◆ ダイバーシティ & インクルージョン
(多種多様な価値観を認め、個々の能力を生かす組織づくり)
- ◆ 才能ある人材を惹きつけ、確保するための
従業員エンゲージメントおよび従業員満足度向上



TDKユナイテッド

- ◆ 理念・ビジョンの共有
- ◆ 多種多様な価値観を認め、個々の能力を生かす組織づくり

TDKグループのマテリアリティ(重要課題)

サプライチェーンマネジメント

◆ 人権問題への取り組み

- 自社製造拠点における従業員の人権配慮
- サプライヤー（製造委託加工先、派遣会社を含む）における従業員の人権配慮
- 責任ある資材調達
- コバルトなどの鉱物問題に対し、サプライチェーン全体で責任ある鉱物調達を推進

オポチュニティ & リスクマネジメント

◆ 気候変動リスクへの対応

- 2050年CO2ネットゼロ実現
- 2022年4月より国内グループ会社の4工場*において、再生可能エネルギー由来のグリーン電力100%での操業を開始

* 過年度に導入済の拠点も含め、2022年6月時点で、日本国内では合計5工場が再生可能エネルギー由来のグリーン電力100%で操業中です。

持続可能な成長に向けて

中核事業の更なる成長に向けた継続的投資と組織・体制の整備を実行する

受動部品	MLCC新工場建設、2024年中より稼働
センサ応用製品	顧客基盤・アプリケーションの拡大戦略を継続
磁気応用製品	次世代ヘッドMAMRの量産本格化
エネルギー応用製品	次なる成長市場となる中型電池市場へCATLとの JVにより成長投資と収益のバランスが取れた成長の実現

- 組織・体制の整備
- ・ デジタル技術の活用によるビジネスプロセスの変革（Digital Transformation）
 - ・ モノづくり力向上（Time to Market）
 - ・ IR・SRグループ設立によるステークホルダーとのコミュニケーション強化

2023年3月期 連結業績及び配当金見通し

DX・EXの流れをとらえ、中核事業のさらなる成長に向けた積極投資により
売上高**15.7%増**・営業利益**10.9%増**と過去最高更新を計画。

(億円)	2022年3月期 通期実績 (IFRS)	2023年3月期 業績予想 (IFRS) (2022年5月発表)	業績予想対前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	19,021	22,000	2,979	+15.7
営業利益	1,668	1,850	182	+10.9
当期利益	1,313	1,450	137	+10.4
1株当たり当期利益	346.44	382.56	－	－
1株当たり配当金	中間　：　33.3円	中間　：　53円	－	－
	期末　：　45円*	期末　：　53円		
	年間　：　78.3円	年間　：　106円		
* 本日のご提案事項				

- 注 1. 2023年3月期の連結業績予想は、IFRS（国際財務報告基準）に基づき算出しております。対前期比増減の算出に使用している2022年3月期のIFRS実績値は、上記の公表時点における概算値です。
2. 当社は、2021年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。1株当たり配当金の2022年3月期実績につきましては、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。
3. 営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較しております。

**株主の皆様のご支援を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。**